



ひゅーまんらいつ

第51号 平成17(2005)年1月

啓発ビデオご利用ありがとうございました

今年度も残り少なくなってきました。

個人で、学校で、PTAで、企業で、地域で・・・人権学習にがんばってこられた皆さんは、この間の取り組みの振り返りをする時期にもなっているのではないのでしょうか。

そこで、人権情報センターでも昨年末までの9ヶ月間の、啓発ビデオ利用状況をまとめました。次につながる取り組みの参考にしてください。

利用の様子

山本家の場合	9回
美しいメッセージ	8回
あした元気になるあれ-元気配達人・松村智広-	7回
人の値うちを問う-人権の詩人・江口いと-	7回
渋染め一揆に学ぶ	6回
だんじり囃子	6回
私自身を見てください	6回
峠を越えて-魂の同和教育実践者・森口健司-	5回

「山本家の場合」、「私自身を見てください」は、日常にある何気ない出来事・風景から人権を考える提案がしてあり、企業や地域での研修におけるグループ学習の導入に多く活用されています。

「あした元気になるあれ」、「人の値うちを問う」、「峠を越えて」は、各出演者の生き様、活動の実践などから部落問題を学ぶことができるものとして、PTA研修などで多くの利用がありました。部落問題をプラスイメージで考えることができるものです。



「美しいメッセージ」、「渋染め一揆に学ぶ」、「だんじり囃子」は、学校での人権・同和教育の授業で活用されています。

啓発ビデオは、この他にも様々なテーマでとり揃えています。センターで試写、貸出し、予約もできますので、ぜひ一度ご覧いただき、これからの研修等にお役立てください。

新しいビデオの紹介

「差別っていったい何やねん」

- 歩く水平社宣言・川口泰司 - (30分)

26歳の川口泰司さんは、差別のない社会を願い、懸命に生きてきた父や母、祖母、先輩たちの強い思いを語り継いでいる一人です。

差別の本質を追及しながら、具体的でわかりやすく、日々の地道な活動に裏付けられたハートフルでエネルギーあふれる講演の様子とともに、部落問題との新たな出会いができる内容となっています。

その他にも・・・

- ・プレゼント (17分・アニメ・字幕入り)
- ・めばえの朝 (41分・アニメ・字幕入り)
- ・人権に向き合うための6つの素材 (27分)
エピソード
小学生の人権学習シリーズ
 - ・「人権」ってなんだろう (14分)
 - ・私の権利、みんなの権利 (14分)

などを購入しました。

詳しい内容等については、人権情報センターへお問い合わせください。

誰でも 人権学習講座

“人権”って聞くけど、よくわからない方も・・・
 ちょっと勉強したことあるけど、もっといろんなことを知りたい方も・・・
 やっぱ、私たちにとって“人権”は、**とっても大切なもの!**ってことを、一緒に考えることができ
 ればうれしいですね。



そんな思いから、人権情報センターでは次の二つの講座を企画しました。

Part 1

日時 平成 17 年 2 月 19 日 (土) 午後 1 時から午後 4 時
場所 米子市人権情報センター
はたなか みのる
講師 畑中 稔 さん (兵庫県立盲学校 教頭)



Part 2

日時 平成 17 年 2 月 26 日 (土) 午後 1 時から午後 4 時
場所 米子市人権情報センター
ふくだ かずひろ
講師 福田 和博 さん ((財)鳥取県部落解放研究所)



参加対象：人権問題に興味がある方なら、どなたでも参加できます。

定員：約 30 名

参加費：無料です。

申込み：郵送、電話、ファクシミリ、Eメール等でお知らせください。

当日参加も受け付けますが、事前にお申込みいただいた方には、【Part2】の資料をお送りします。
 【Part1】、【Part2】どちらか一方の参加でも構いません。

詳しくは、人権情報センターへお問い合わせください。



「被差別部落のわが半生」

[2004 年 平凡社新書
 山下力 著 777 円 (税込)]

題名はカタク、襟^{えり}を正して読まなければ...という気分になりますが、その必要は全くありません。素直に読んで面白く、何よりも「差別」のことがよくわかるのです。

部落解放運動の第一線で活動してきた、素直にして人間的なやさしさがある著者の「人は誰でも『差別したり』『差別されたり』する存在なのではないか」という発想が、この一冊の全てを語り、一気に読みきれれるものとしています。



米子市人権情報センター (人権政策課内)
 URL : <http://yonago-city.jp/jinken/>
 米子市東町 161 - 2 0859-37-3183 Fax0859-37-3184